

後志利別川水系河川整備計画[変更](原案) へのご意見とその対応

河川整備計画変更の流れと検討委員会での審議内容

河川整備計画変更の流れ

整備計画検討委員会における審議内容

後志利別川
整備計画検討委員会
＜河川法第16条の2第3項＞

令和4年9月9日 第3回開催

令和5年1月31日 第4回開催

令和5年3月16日 第5回開催

河川整備計画策定時からの社会情勢の変化等

河川整備計画変更の必要性(点検)

河川整備計画変更(原案)の作成

意見募集 2/1～3/2
・縦覧の実施
・住民説明会の開催

関係住民(パブリックコメント)
＜河川法第16条の2第4項＞※

河川整備計画変更(案)の作成

北海道知事からの意見聴取等
＜河川法第16条の2第5項＞

関係機関連絡調整・協議(関係省庁)

河川整備計画変更の決定・公表

※ 河川法第16条の2第4項
河川管理者は、河川整備計画の案を作成しようとする場合において必要があると認めるときは、公聴会の開催等関係住民の意見を反映させるために必要な措置を講じなければならない。

- **後志利別川水系河川整備計画〔変更〕（原案）に寄せられたご意見と（案）への見直しについて**
 1. **前回の検討委員会（第4回）でのご意見とその対応**
 2. **流域住民からのご意見とその対応**

2. 流域住民からのご意見とその対応について

パブリックコメントの実施について

- 「後志利別川水系河川整備計画[変更](原案)」に対して後志利別川流域の市町村(せたな町、今金町)の住民の意見を反映するため、意見募集を行いました。

パブリックコメントの実施概要

◆縦覧期間

令和5年2月1日(水)～令和5年3月2日(木)

◆縦覧場所

後志利別川流域の市町

- ・せたな町役場
- ・今金町役場

函館開発建設部

- ・本部工務課
- ・今金河川事務所
- ・美利河ダム管理支所
- ・ホームページ

◆提出意見数 8件

ご意見は、以下の項目を記入いただき、電子メール、郵送、FAXのいずれかの方法で行いました。

- ①氏名 ②住所(市町名)、 ③連絡先(電話番号又はメールアドレス)
- ④年代 ⑤後志利別川との関わり ⑥意見

◆住民説明会

令和5年2月15日 今金町民センター(16名参加)

令和5年2月16日 せたな町ふれあいプラザ(40名参加)



令和5年2月15日開催 今金町民センター



令和5年2月16日開催 せたな町ふれあいプラザ

流域住民からのご意見について

ご意見	本資料 説明頁	(案) 該当頁
○河川整備計画の目標に関する事項	—	—
①気候変動による海面上昇について	17	18
○河川整備の実施に関する事項	—	—
②河川利用について	18	50
③地震・津波対策について	19	50,64
④維持管理について	20	56
⑤洪水調節方式について	21	58
⑥既存ダムの洪水調節機能について	22～23	66
⑦堤防諸元の記載について	24	—

河川整備計画の目標に関する事項 流域住民からのご意見①への対応

【ご意見】

後志利別川水系河川整備計画【変更】(原案)の該当箇所 第____章____ページ

今説明した中で気候関係の降雨関係については説明頂いたのですが、将来の海面上昇についての話がなかったものですかからお聞きします。気候変動の温度上昇による降雨量のデータは出ているのですが、海面の上昇だとかそういったものも相当、川と言うのは影響受けるので、その辺の検討はなさっているのかお伺いしたい。

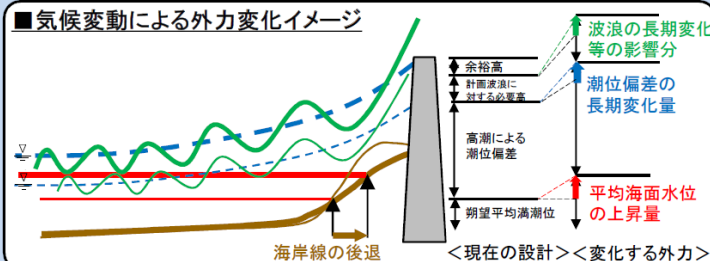


【対応】

- IPCCのレポートでは、平均海面水位の予測上昇範囲はRCP2.6(2°C上昇に相当)で0.29~0.59mとされています。
- 2°C上昇シナリオの最大値0.59m上昇を想定した水位計算では計画高水位以下になっていることを確認しており、現況堤防の嵩上げなどは必要無いことを確認しています。

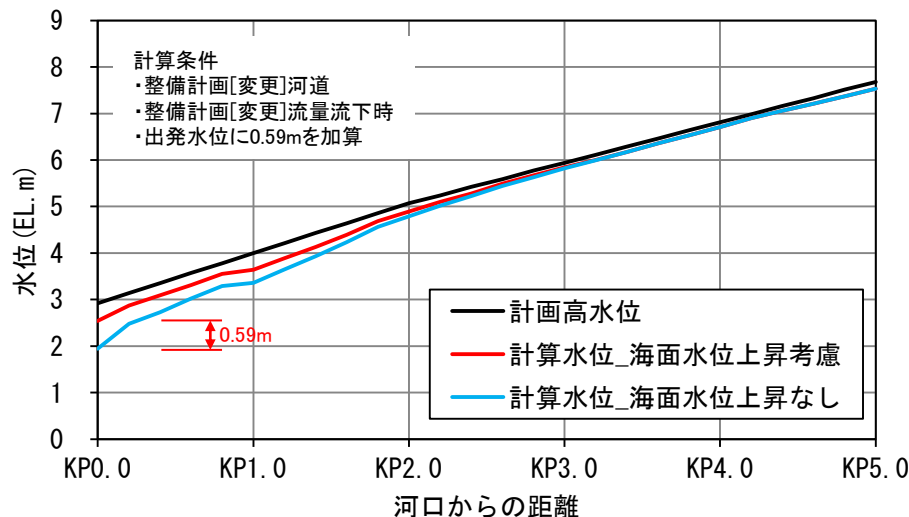
I 海岸保全に影響する気候変動の現状と予測

- IPCCのレポートでは「気候システムの温暖化には疑う余地はない」とされ、SROCCによれば、2100年までの平均海面水位の予測上昇範囲は、RCP2.6(2°C上昇に相当)で0.29-0.59m、RCP8.5(4°C上昇に相当)で0.61-1.10m。



<気候変動影響の将来予測>

	将来予測
平均海面水位	・上昇する
高潮時の潮位偏差	・極値は上がる
波浪	・波高の平均は下がるが極値は上がる ・波向きが変わる
海岸侵食	・砂浜の6割~8割が消失



河川整備の実施に関する事項

流域住民からのご意見②への対応

【ご意見】

後志利別川水系河川整備計画〔変更〕（原案）の該当箇所 第____章____ページ

以前、川沿いで三つ葉やフキなどの山菜を採って楽しんでいたのですが、最近少し整備しすぎて、そういったものがなくなってきて寂しく感じている。みんなが楽しめる河川ということで、山菜や昔のものを保存したりすることも河川整備の1つのヒントになるのではないかなと思う。



【対応】

- 河道掘削にあたっては瀬・淵等の水域の環境を保全するとともに、草本および自然裸地の回復に努め、洪水の安全な流下に支障とならない範囲で樹木を保全し、動植物の多様な保全・創出を図って参ります。

（記載箇所：50ページ29行目～31行目）

河川整備の実施に関する事項

流域住民からのご意見③への対応

【ご意見】

後志利別川水系河川整備計画〔変更〕（原案）の該当箇所

第2-1-1の(4) 50ページ

地震・津波対策

北海道南西沖地震など北海道の日本海側でも巨大地震の可能性は否定できない。津波が発生すると周辺よりも地盤高が低い河道内では津波の伝搬速度は早まり、川を遡上した津波が堤防から溢れて周辺に大きな被害をもたらす危険もある。大川小学校においても突然川から溢れた津波によって子供たちが逃げ遅れ、多くの人命が失われた。この対策として津波が到達する可能性の高い下流部の築堤を嵩上げ強化し、スーパー堤防化するなどの地震津波対策を盛り込んでいただけないか？



【対応】

- 河川管理施設の耐震性能照査を実施のうえ、必要な耐震対策の実施を進めるほか、津波が発生した場合、河川を遡上する津波による河川利用者の被災、樋門からの逆流等による周辺地域における浸水被害の発生が想定されるため、河川利用者や地域住民、関係自治体への迅速な情報提供の検討を行うとともに、自動化・遠隔化等によりの確な樋門操作を実施します。
（記載箇所：50ページ7行目～14行目）
- 平常時より地震を想定した、迅速な巡視・点検並びに円滑な災害復旧作業に向け、大規模地震等を想定した訓練を実施する等、体制の強化を図ります。
（記載箇所：64ページ28行目～30行目）

河川整備の実施に関する事項 流域住民からのご意見④への対応

【ご意見】

後志利別川水系河川整備計画 [変更] (原案) の該当箇所 第_____章_____ページ
 自宅は後志利別川沿いの■■■■のすぐ傍と言うことで今回の昨年の8月の洪水で今金町全
 体の中の農地もかなりの被害を受けておりました。よく聞きます田んぼダムという形で大
 分進んでいる状況下にあるのかなと思います。今回のような大きな災害などの場合、これが
 6月の場合、9月の場合などは田んぼに水が溜まらないような状況下ではもっと被害が大
 きかったのかという面も考えられるかなと思っております。各樋門の出口等にも土砂がか
 なり堆積しておりますので、そちらの方も今回の事業の方で修繕するという話も聞いてお
 いますので、それにつきましては地域住民等も安心できるかなと思います。工事期間はど
 れぐらいの予定をしているのか教えて頂ければと思います。-----



【対応】

- 定期的な点検や日常の河川巡視を実施し、沈下や漏水、亀裂等の堤防の変化、樋門等の河川管理施設の変化、河道内の樹木の繁茂や土砂の堆積、ゴミ、不法投棄等の異常を早期に発見し、河川管理上支障となる場合は、速やかに必要な対策を実施します。

(記載箇所:56ページ25行目~27行目)

河川整備の実施に関する事項 流域住民からのご意見⑤への対応

【ご意見】

後志利別川水系河川整備計画〔変更〕（原案）の該当箇所

第2-1-1の(3)の1) 48ページ、

流域治水対策の一環として「既存ダムの有効活用」が挙げられてますが、この中身は後に述べられている「効果的な事前放流の実施」だけですか？

ダムが計画された時と現在では河川改修の進捗により、ダム下流河川の無害流量も大きくなっていると思いますので、洪水初期のダム放流量やダムの計画最大放流量も増やすなど、より大きな出水に効果のある洪水調節方式に変更すべきではありませんか？

さらに、ダムの設計洪水量を定める際に重要な役割を果たすクリーガー式の地域係数ですが、東北では3.4で道内は1.7となっており倍の開きがあります。平成28年洪水では台風10号により道内でも500mmを超える大雨が降るなど、近年の気候変動により東北地方と本道の雨の降り方には大きな差はなくなりつつあると思います。

ダムの安全に大きく影響するクリーガー式の地域係数を東北並みに早急に見直していただきたいと思います。（河川砂防技術基準の改定）

参考のため美利河ダム地点のクリーガー流量は718トン/秒、既往最大は731トン/秒（平成29年台風18号）です。金山ダム地点のクリーガー流量は1566トン/秒、既往最大は1559トン/秒（平成28年台風10号）となっております。

全国的には200年に一度の洪水に相当するといわれているクリーガー流量が、ダム完成から僅かに26年（美利河）、49年（金山）で同規模の出水を経験しているということは、明らかに地域係数が不適切（過少）なことが原因です。今後、再開発が予定されている雨竜川ダムや糠平ダムの設計にも是非反映していただきたいと思います。以上



【対応】

河川砂防技術基準において、「ダムの堤体及び洪水吐きの設計において基本となるダム設計洪水流量は、構造令第2条第3項で定める方法に従い決定するものとする。」となっております。

■構造令（河川管理施設等構造令）

第2条第3項 設計洪水水位

「ダムの新築又は改築に関する計画において、ダムの直上流の地点において200年につき1回の割合で発生するものと予想される洪水の流量、当該地点において発生した最大の洪水の流量又は**当該ダムに係る流域と水象若しくは気象が類似する流域のそれぞれにおいて発生した最大の洪水に係る水象若しくは気象の観測の結果に照らして当該地点に発生するおそれがあると認められる洪水の流量のうちいずれか大きい流量**（フィルダムにあつては、当該流量の1.2倍の流量。以下「ダム設計洪水流量」という。）の流水がダムの洪水吐きを流下するものとした場合におけるダムの非越流部の直上流部における最高の水位をいう。」

と記載されており、下線部を求めるときは地域別比流量図（クリーガー曲線）によることができるとされています。

気候変動の影響を踏まえ、他の手法と同様に検討すべき重要な事項と考えます。

（記載箇所：58ページ8行目～11行目）

河川整備の実施に関する事項 流域住民からのご意見⑥への対応

【ご意見】

後志利別川水系河川整備計画 [変更] (原案) の該当箇所 第 _____ 章 _____ ページ

昨年8月に資料にもありますように大雨がありまして、私が住んでいる[]は甚大な被害を受けました。第二幹川用水路が氾濫して今金町市街地の南側で被害を受けております。

その中で美利河ダムの危機管理体制の構築強化とすることで、どのくらいのダムの水量が上がってきた場合にダムから水を放流するような形になっているのかと言うところを聞きたい。私の認識は少し違うかもしれませんが、昨年8月の災害も美利河ダムの放流もあってそのような被害につながった部分もあるのではないかと考えておりますのでその辺も説明お願いいたします。

【ご意見】

66ページ
3) 治水施設等の対応、c) 既存ダムの洪水調整機能の強化

美利河ダムの水量調整等をしながら被害を最小化することができないのか、いつも思うのだが、ダム管理所に聞いたら「ダムを守るのが仕事」と言われた。

近年天気予報の精度が高まってきており、大雨が想定される日時が知り得る状況である。

関係機関が許せる範囲で構わないので、事前放流は絶対実施してほしい。

大雨の際、ダムの貯水・排水状況をホームページでいつも確認しているが、事前放流を実施していない。(確認ができない)

実施するならば、関係町村への情報提供やホームページ等で事前放流する時間、放流量など住民が分かりやすく情報を出してほしい。

ダムがあるのに毎年、水害(農業)被害がおこるのはいかかと感じる。

ダムのこれからの在り方、洪水対策への強化を期待します。



【対応】

- 後志利別川水系治水協定に基づき各施設管理者と連携して引き続き、洪水調節機能強化の推進に向けた検討を進めます。
(記載箇所: 66ページ21行目~23行目)
- なお、美利河ダムの洪水調節効果や放流状況については、函館開発建設部ホームページ※1や川の防災情報※2で確認することができます。

※1 函館開発建設部ホームページURL: <https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/koumu/mt6nfj000000aoqt.html>

※2 川の防災情報ホームページ URL: <https://www.river.go.jp>

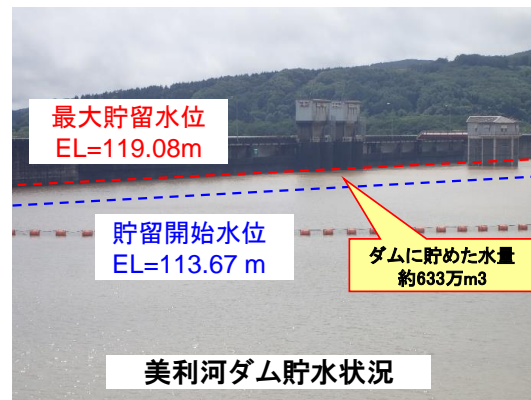
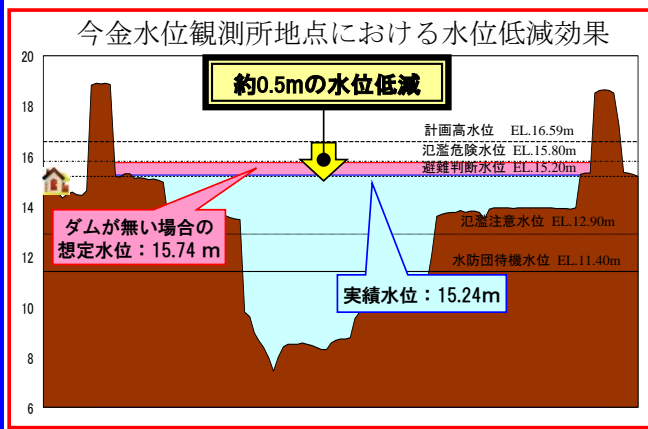
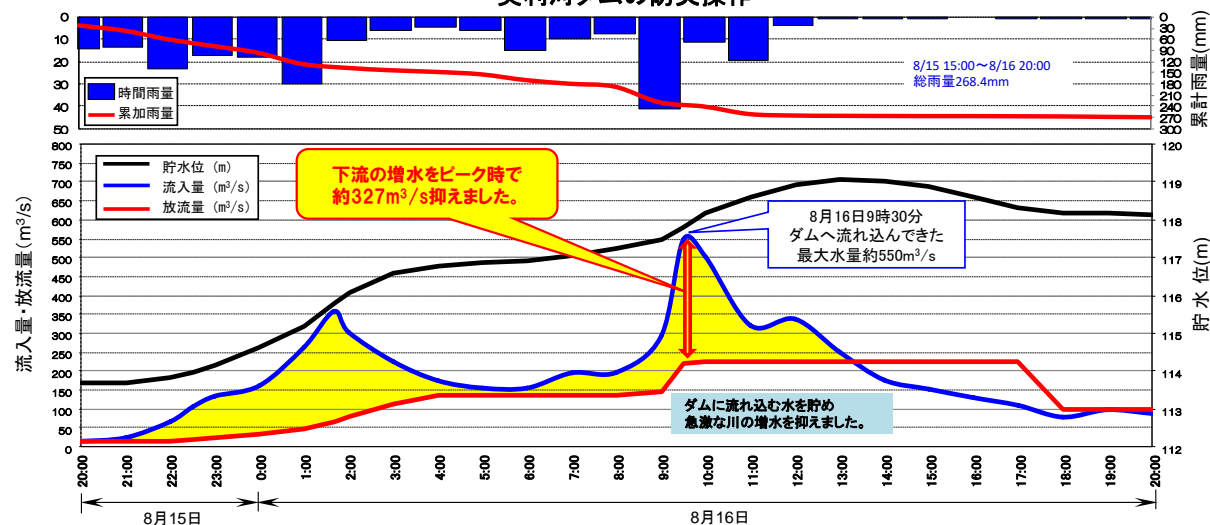
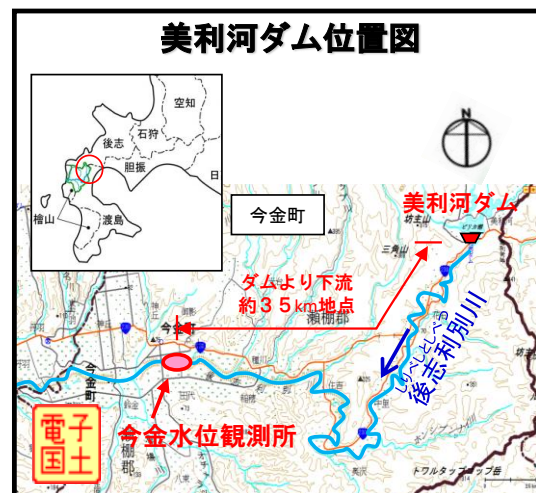
河川整備の実施に関する事項 流域住民からのご意見⑥への対応

洪水に対しダム整備が効果を発揮(北海道 美利河ダム)(国管理)

- 令和4年8月15日～16日、前線を伴った低気圧による大雨により、美利河ダムにおいては、洪水量を超える流入量を観測。
- 美利河ダムの防災操作によって、下流河川の水位低減を図り、**下流の今金町付近(今金水位観測所)では、水位を約0.5m低減**させる効果があったものと推測されます。
- 仮にダムが整備されていなければ**氾濫危険水位***に迫る**出水**となっていたことが想定されます。

※氾濫危険水位：洪水により相当の家屋浸水等の被害を生ずる氾濫の起こるおそれがある水位。

美利河ダムの防災操作



河川整備の実施に関する事項

流域住民からのご意見⑦への対応

【ご意見】

後志利別川水系河川整備計画〔変更〕（原案）の該当箇所
第2-1-1の(1) 45ページ、図2-1

断面イメージ図となっているが、十勝川では標準断面図として、堤防の天端幅、のり面勾配、余裕高などの基本的な諸元が記載されている。千歳川や夕張川も同様です。後志利別川でも主要地点の堤防諸元は整備計画にきちんと明記すべきではありませんか？

【対応(補足解説)】

- 堤防整備は概成しており、新規堤防整備を予定していないため整備計画書には堤防諸元を掲載しておりませんが、参考までに、右図のとおり後志利別川堤防標準断面図を示します。

